

10月の米CPI

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

市場予想を下回った10月の米CPI

10月の米CPIは前年同期比+7.7%と9月の+8.2%から低下、市場予想であった+7.9%を下回った。食品・エネルギーを除いたコア指数も前年同月比+6.3%と9月の+6.6%を下回り、市場予想であった6.5%を下回った。10月の米CPIが市場予想を下回ったことから、市場関係者の間ではインフレはピークアウトする期待が高まった。次回(12月)のFOMCでは、政策金利は0.5%の引き上げに留まる可能性が高まり、NY市場では、株高、金利の低下、ドル安となった。

・10月のCPIは市場予想を下回る

・コアCPIも市場予想を下回る

・次回FOMCでは政策金利の引き上げは0.5%に留まる可能性が高まる

まずは買い戻しが中心か

10月の米CPIの発表を受け、NYダウは前日比+1201ドル(+3.6%)、ナスダックは同+760ポイント(+7.3%)の大幅上昇となった。特に今まで売り込まれていたテクノロジー株に買いが集まり、半導体関連銘柄で構成されるSOX指数は前日比+10.2%の上昇であった。エヌビディア(前日比+14.3%)、AMD(同+14.2%)などは10%以上の上昇である。一方で、企業の業績についてはテクノロジー株の多くが22年7-9月の決算発表を終えたばかりであり、数日で外部環境が大きく変わることはないだろう。このために今回の大幅反発は、まずは空売り中心の買い戻しであり、このために売り込まれていた銘柄を中心に大きくリバウンドしたとみている。

楽観は禁物だが、リバウンドのマグマはたまっている

今後の米国の金融政策だが、発表される他の経済指標もみながら総合的に決定される。このため、10月のCPIからFRBの金融政策の変化を期待するのは時期尚早だろう。しかしながら、今回の大幅反発から、株式市場ではリバウンドのマグマがたまっていることが伺える。株式市場に何かしらのプラス材料が出るようならば、大きくリバウンドする可能性が改めて認識されよう。景気減速の局面では、株価は▼25%程度の調整が入るとも表現される。このため、既に株価は調整したとみる向きもある。いずれにしても、米国は景気が後退する可能性は高いだろうが、米国経済の力強さ、企業のバランスシートの健全性と収益力を考えると調整局面では、優良株を仕込む機会となるだろう。最近ではメタが人員削減を発表したが、景気後退にいち早く対応する柔軟性もプラス材料として評価できよう。

東京市場マーケットデータ

2022/11/10 現在

日経平均	2万7446円
プライム売買代金	3兆812億円
プライム時価総額	695兆757億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

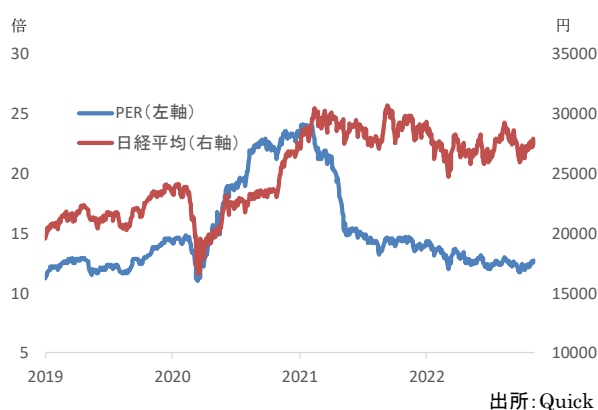
2022/11/10 現在

株価前日比

1	レーザーテック	0.2%
2	ソフトバンクグループ	▼2.6%
3	任天堂	▼0.4%
4	東京エレクトロン	▼1.0%
5	トヨタ	▼1.5%
6	川崎汽船	▼0.8%
7	ファーストリテイリング	▼1.0%
8	ホンダ	▼4.0%
9	ソニーグループ	▼1.5%
10	三菱商事	1.3%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa